



川中だより

令和5年4月28日(金)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第1号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

令和5年度がスタートしました。

この4月から川東中学校に着任しました校長の清水謙一と申します。よろしくお願ひします。令和5年度は新入生22名が新たに加わり、全校生徒85名で新しい川東中学校がスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の対策が全国的にも緩和の方向に向かい、様々な日常が戻りつつあります。学校としても、決して油断せず、感染症を広げないための対策を行いつつも、生徒たちの活動が元通りの活動に近づけるようしていきたいと考えております。

さて、3月に実施されたWBC(ワールドベースボールクラシック)が日本中の話題になり、日本が優勝して大いに盛り上がりました。メディアでは、いろいろな話題が取り上げられましたが、私が印象に残っているのは、準決勝のイタリア戦、3回一死一塁の場面で、日本の大谷翔平選手がセイフティーバントをし、チャンスを広げた場面です。大谷選手は試合後のインタビューで「引っ張った打球が正面でゲッツーになるのが最悪のシナリオ。リスクを回避しながら、かつハイリターンが望めるチョイスをした」と話しました。

大谷選手ほどの一流の選手がチームのために何が必要か、どうすれば勝てるかを考え、判断し、実行したのだと思います。そういった一流の集まった選手一人一人が「誰かに言われた」のではなく、自分で判断し行動した結果が優勝という大きな成果につながったのではないのでしょうか。

4月7日に行われた入学式の式辞の中で私から新入生に以下のことを話しました。

- 中学校3年間で一つでもいいので、自分に自信が持てるものを作ってほしい。それが、皆さんを必ず大きく成長させてくれるはず。
 - 誰かに言われて何かをするのではなく、自分で考え、自分で判断し、より良くなるよう努力する「自立した人」になってほしい。
- しかし、困った時は先生や先輩、ご家族に遠慮なく話して、助けを求めてほしい。

これは、新入生に限らず、川東中学校の全ての生徒に伝えたいメッセージです。

学校生活の中には、どんなに頑張っても失敗することもあります。「失敗は成功のもと」「失敗は成功へのステップ」です。失敗を乗り越え、新しい世界が見えた時に子供は大きく成長します。今年1年間、子供たちの成長のために、ご協力とご支援をいただきますようお願いいたします。